

調査結果報告書

《吉田地区》

『保育園への送迎及び統廃合についてのアンケート』

「宇和島市保育施設等整備長期計画」に基づき、吉田地区の保育所統廃合の検討における参考資料とするため、吉田地区7園の保護者を対象に、就労の状況・送迎の状況を調査するとともに統廃合に関する意見を聴取するアンケート調査を行ったので、その結果について報告します。

【調査の概要】

調査対象	吉田地区7保育園 175世帯(平成23年8月1日現在)
調査期間	平成23年8月16日～平成23年8月24日
回収率	163世帯(93%)

平成23年9月

保健福祉部 福祉課 保育係

1. 世帯の状況

(1) 児童の状況

	児童数	世帯数	回答数	住んでいる地域					通園児童の数			通園児童の年齢					
				宇和島	吉田	三間	津島	その他	1人	2人	3人	0才	1才	2才	3才	4才	5才
愛児園	51	44	41	0	41	0	0	0	33	8	0	0	8	11	12	8	10
御殿内	19	14	14	0	14	0	0	0	9	5	0	0	2	3	5	5	4
奥南	44	28	27	0	27	0	0	0	15	9	3	0	5	7	4	9	13
喜佐方	32	26	25	0	25	0	0	0	20	5	0	0	2	3	7	5	12
たちばな	36	30	28	0	28	0	0	0	22	4	2	0	2	5	5	11	13
玉津	32	28	23	0	23	0	0	0	19	4	0	0	0	4	8	5	10
立目	9	5	5	0	5	0	0	0	2	3	0	0	0	1	3	2	2
合計	223	175	163	0	163	0	0	0	120	38	5	0	19	34	44	45	64

平成 23 年度 8 月時点で吉田地区以外からの入所は無い。

児童の入所に関しては、愛児園が 6 ヶ月から受け入れる以外は概ね 1 歳からの受入となっており、全体的に 2 ~ 3 歳から入所が増加している。

また、保育園 7 園に対し幼稚園は私立 1 園しかないことも影響してか、就学前児童における保育園入所の割合は他の地域よりも高い。(宇和島市保育施設等整備長期計画による)

(2) 保護者の状況

地区別	複数回答					
	会社勤め	自営業	内職等	出産前後	介護等	その他
愛児園	64	32	2	3	2	16
御殿内	16	22	0	2	0	2
奥南	37	31	0	0	1	10
喜佐方	29	55	0	0	0	5
たちばな	53	42	1	0	1	9
玉津	34	40	0	1	0	5
立目	6	11	0	0	0	0
合計	239	233	3	6	4	47
保護者別						
父	85	49	0	0	0	8
母	108	33	2	6	1	7
祖父	15	78	1	0	0	17
祖母	31	73	0	0	3	15

保育園の入所理由(保育に欠ける理由)のほとんどは仕事によるもの。

保護者全体において愛児園・奥南・たちばなは会社勤めの方が多いが、それ以外では喜佐方に自営業が多いのが顕著である。

保護者別に見ると、母親に最も会社勤めが多く次いで父親、祖父母になると自営業がほとんどである。

(3) 送迎の状況

複数回答

	主な送迎者					迎えに行く状況				どの地区から迎えに					吉田地区内の内訳(小学校区)				
	父	母	祖父	祖母	その他	仕事場から	自宅から	祖父母宅から	その他	宇和島	吉田	三間	津島	その他	吉田小	奥南小	喜佐方小	玉津小	立間小
愛児園	6	29	4	13	1	15	23	6	1	4	34	0	0	4	23	0	3	1	3
御殿内	4	13	1	4	1	3	9	2	1	1	13	0	0	0	10	0	1	0	3
奥南	4	24	3	8	2	7	20	2	0	3	25	0	0	0	2	23	0	0	0
喜佐方	5	15	0	5	0	9	15	1	0	3	22	0	0	0	1	0	21	0	0
たちばな	6	19	2	9	1	6	21	2	0	2	27	0	0	0	1	0	0	0	25
玉津	4	20	3	5	1	5	17	2	0	0	23	0	0	1	0	0	0	23	0
立目	1	4	0	4	0	0	5	0	0	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0
合計	30	124	13	48	6	45	110	15	2	13	149	0	0	5	42	23	25	24	31

主な送迎者は、全体で母親が最も多く、次いで祖母・父親の順である。

迎えに行く状況については、自宅からが多く(64%)、次いで仕事場(26%)からとなり、園ごとの地域性は特に見られない。

迎えに行く地域については、宇和島からが一部あるものの、ほとんどは吉田地区であり、その内訳もほとんどが園の近くであることから、主な送迎者である母親の多くが会社勤めではあるが、迎えに行く際には一旦自宅に戻ってから迎えに行くことが多いのではないかと推察できる。

また、約4人に1人の割合で仕事場から迎えに行く保護者についても、宇和島からの割合が少ないことから、吉田町内の勤務先が比較的多いことがうかがえる。

2. 統廃合について

(1) 現在通っている園が仮に閉園となった場合の転園希望地域

	宇和島	吉田	三間	津島	その他
愛児園	1	38	0	0	0
御殿内	0	14	0	0	0
奥南	1	24	0	0	2
喜佐方	0	25	0	0	0
たちばな	0	28	0	0	0
玉津	0	21	0	0	3
立目	0	5	0	0	0
合計	2	155	0	0	5

吉田地区の保育園が統廃合により減少した場合でも、宇和島を含め他地域への転園希望は少ない。

《その他の内訳》

西予市 (2)

自宅保育 (2)

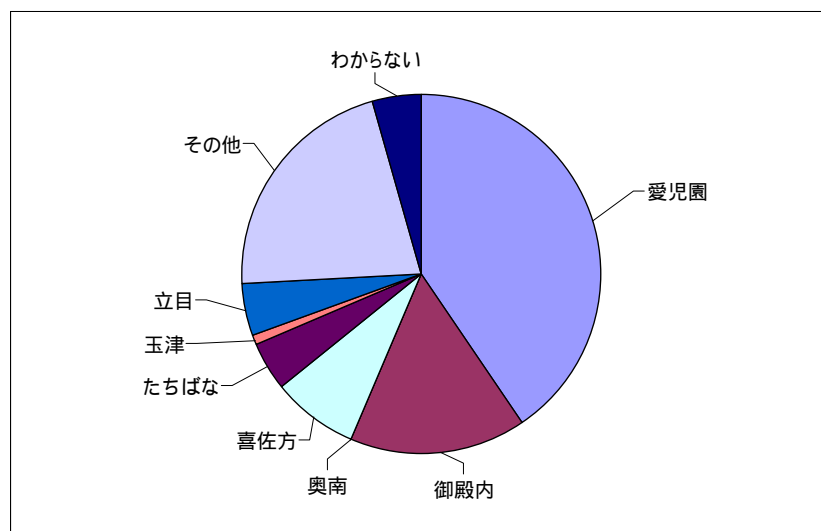
引越す (1)

(2) もし、転園するならどの園が希望ですか？

	愛児園	御殿内	奥南	喜佐方	たちばな	玉津	立目	その他	わからない
愛児園		13	0	2	0	1	2	9	0
御殿内	10		0	0	2	0	0	1	1
奥南	6	2		7	0	0	4	7	0
喜佐方	11	4	0		1	0	0	5	2
たちばな	11	2	0	0		0	0	3	3
玉津	12	0	0	1	3		0	2	0
立目	3	0	0	0	0	0		1	0
合計	53	21	0	10	6	1	6	28	6

《その他の内訳》

- 済美保育園 (1)
- 村井幼稚園 (6)
- 吉田町内希望 (5)
- 吉田小校区内 (1)
- 広域入所希望 (1)
- 特になし (4)
- 自宅近くの園 (8)
- 自宅で保育 (2)



愛児園が無くなった場合の転園先としては、近隣の御殿内が多い以外ばらついてい

る。御殿内及び立目は、同じ小学校区であることからかほとんどが愛児園希望となっ

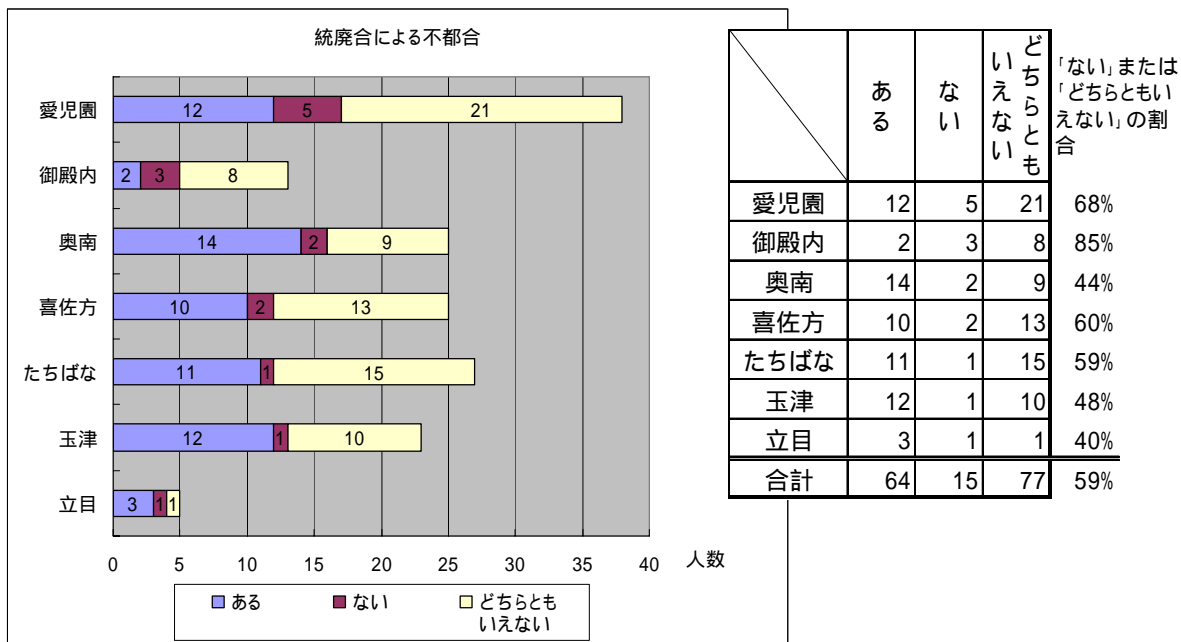
ている。奥南は地理的な理由からか、愛児園のほか喜佐方・立目・御殿内と、近いところを

選ぶ点が見逃せない。喜佐方は途中にある御殿内をとばして愛児園が多くなっている。

たちばなは近隣の愛児園がほとんど、玉津も同様に愛児園が多く、途中にあるたち

ばなが少ないことは意外ではあるが、生活圏の中心に近い園を保護者が選ぶことも推

(3) 現在通われている園が仮に閉園となった場合に不都合はありますか？



不都合が「ある」と答えた回答は全体の41%、「ない」は9.6%で、「ない」または「どちらともいえない」という回答が予想以上に多かった。

不都合が「ある」割合が高いのは、奥南・玉津である。これは先端部で遠いため、閉園になった場合の近隣保育園の場所によっては、通園等で不便となるためと思われる。

逆に低いのは御殿内で、近くに愛児園もあり、同じ小学校区なので就学後の心配も少ないためと思われる。

意外と愛児園に不都合が「ある」割合が低かったのは、もともと愛児園には周辺部からも入園しており、仮になくとも地元には他の園があるという理由からかも知れない。

今後、統廃合が進み保育所の設置状況が変わってくると、回答も変わってくるものと思われる。

【不都合が「ある」と答えた理由】

- ・送迎距離の延長（愛：6）（御：1）（奥：10）（喜：7）（た：9）
（玉：9）（立：2）
- ・仕事への影響（就労時間の変更等）が出る
（愛：3）（奥：3）（喜：1）（玉：1）
- ・環境の変化による子どもへの影響
（御：1）（喜：2）（た：1）（玉：3）（立：2）

【考察】各園の状況と閉園に係る影響について

吉田愛児園

愛児園は吉田町内の中心部に位置し、児童数も多く、保護者は会社勤めが多い。閉園に係る不都合の意識は多くないが、周辺の園が無くなった場合、受け皿となるべく他からの転園希望は多い。

御殿内保育園

吉田中心部に近く、吉田公園や体育館も近いので立地条件は良いが、児童数は近年急激に減少している。閉園になった場合の不都合有りの割合は15%と最も低い。転園希望先は愛児園がほとんどである。

奥南保育園

自営業よりも会社勤めが多い。水産業と密接な地域性があり、ここ数年児童数は横ばい若しくは増加で推移している。位置的には中心部から遠く、閉園に対する不都合有りの割合はかなり高い。閉園になった場合の転園希望先は愛児園よりも喜佐方が多い。愛児園までは距離的に遠すぎることで、また勤務先も比較的地元が多いことが考えられる。

喜佐方保育園

自営業の割合が高い。閉園になった場合の転園希望先は愛児園、次いで手前にある御殿内となっており、不都合有りの割合も4割と比較的高くない。近隣に御殿内・愛児園・奥南とそう遠くない距離にあるが、小学校と合わせて存続を希望する地域性がある。

たちばな保育園

立間地区にありみかん等の農業によるためか愛児園より自営業の率は高い。愛児園まで距離的にも近く、閉園になった場合の転園希望先も愛児園が多い。閉園に対する不都合有りの割合も4割強と高くはない。

玉津保育園

勤めよりも自営業が多く、近年児童数は減少している。位置的に中心部から遠く、閉園に対する不都合有りの割合は高い。仮に閉園になった場合の転園先については、中心部までの通り道にあるたちばなよりも愛児園に対する希望が高い。

立目保育園

児童数は年々減少し今年度は10人を切るに至った。世帯数が少ないので回答を精査すると、主な送迎者は勤めが多く、勤務先も旧市内が多い。愛児園が隣接しており距離的にも近く、旧市内までの通り道となる。閉園に対する不都合についても、児童数で見た場合には約半分が「ない」または「どちらともいえない」であった。

【まとめ】

今回の調査目的は、吉田地区の保護者の就労や送迎の状況を調べ、自営業が多いのか会社勤めが多いのか、また子どもを保育園に通わせるために人はどのように動くのか、そして現在通園中の保育園が統廃合により無くなった場合の影響を調べることによって統廃合の検討材料とすることであった。

しかし、調査の結果、主に送迎する保護者も家族構成も様々であり、会社勤めの母親が連れて行って迎えは自営の祖父母など複雑多岐に渡るため、地域ごとの世帯状況と統廃合による不都合との因果関係を特定することは困難であった。

その中で、概ね次のとおり全体的な概要として認められる。

中心部の愛児園には会社勤めが多いが、それ以外特に喜佐方に自営業が多いことを除けば、若干周辺部に自営業が多いものの顕著な偏りはない。仕事場から迎えに行くケースがさほど多くないことから、仮に閉園になった場合に、通勤途中の園に転園することで問題が解消することも見込めない。よって、玉津・奥南の2園については吉田地区の先端部にあることから、他の園の受け皿になることは考えにくく、かといって閉園した場合には距離的なことも含めて送迎に係る負担を考えると、単独でいつまで存続できるかという視点で考えるべきであろう。

愛児園・御殿内・喜佐方・たちばなについては比較的中心部に近接しており、双方が無くなった場合の転園先として、仮に閉園になっても不都合が「ない」または「どちらともいえない」という意見も多い。ただし、その中でも転園先として最も希望の多い愛児園を中心に集約できる余地はあると思われる。

立目については、今後も児童数の劇的な増加は見込めず、就労状況や地理的条件からしても吉田地区の統廃合を進める上では、最も対象となることはさけられない。

《参考》アンケートに寄せられた意見等

- 現在の園が無くなれば就業時間を短くしなければならなくなる。(愛)
- 統廃合は仕方ない面もあるが、子育て世代との話し合いをしっかりとしてほしい。(愛)
- 迎えが早くなれば仕事の継続が難しくなり、延長保育をしている宇和島市内だと遠すぎる。(愛)
- 祖父母が迎えに行っているので大変になる。(愛)
- 統廃合する場合の保護者への通知は早くしてほしい。(愛)
- 自宅から遠くなり送迎が困難。(愛、他)
- 統廃合には反対。(奥)
- 少子化により統廃合は仕方ないが、町内で偏りが生じると困る。各地区から無理のない通園圏の確保をお願いしたい。(奥)
- 小学校になっての統廃合は仕方ないと思うが、就学前の子どもには地域の中でのびのび育ててもらいたい。(奥)
- 地元との関わりながら育て欲しいと考えている。予算削減より大きな視野で考えてほしい。(奥)
- 子どもたちがのびのび過ごすためには保護者間の連携も大切だ。親同士の関わりにも目を向けてほしい。(御、喜)
- 保育園の統廃合より小学校が先ではないか。(喜)
- 子どもにきちんと保育出来る環境ならば、統廃合は関係ない。(喜)
- 今の保育園の環境がいいので、老朽化している施設を直して存続してほしい。(喜)
- 地区行事への連携が難しいが通園は問題ない。統廃合は免れないと思うが、保育時間、設備の整備はきちんとしてほしい。(喜)
- 保育時間の延長をしてほしい。(喜)
- 同じ市内の保育園でいのこりが出来る園と出来ない園があるのはおかしい。(喜)
- 子どもを育てやすく、親が安心して働きに出られる環境をつくる事が重要だと思う。園を減らす事より質を高めて育児をしやすく、子どもを増やせる体制を整備してほしい。(喜)
- 地域とのつながりもあり、子どもたちとの交流が無くなると関係性が希薄になる。(た)
- クラスの友達と急に離れるのは子どもがかわいそう。(た)
- 環境変化による子どもへの影響が心配。(た)
- 校区に1保育園は必要。(玉)
- 小学校の統廃合の話も出ているので、保育園の統廃合は小学校と同時期若しくはそれ以降にしてほしい。(玉)
- 人数が少ないのも面白くないと思うので、遠くはなっても統廃合は仕方ないと思う。